

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|----------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 0770402311 | | |
| 法人名 | 有限会社ことぶきケアサービス | | |
| 事業所名 | グループホームことぶき | | |
| 所在地 | いわき市錦町川窪101-3 | | |
| 自己評価作成日 | 平成23年9月15日 | 評価結果市町村受理日 | 平成22年4月28日 |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaigo-fukushima.info/fukushima/Top.do |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人福祉ネットワーク | | |
| 所在地 | いわき市錦町大島2 | | |
| 訪問調査日 | 平成23年10月19日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症を理解し、利用者一人ひとりに対しどの様に関わればよいのかを知る事が大切。
その為に勉強会や研修に参加し、日々努力してチームケアを目指している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は、全職員が利用者の情報を共有して、本人本位のケアサービスに努めている。
家族とは、利用者の近況報告をしたり、意見や要望を聞いたりして、コミュニケーションをとり、関係の継続に努めている。
利用者は、自由に穏やかに過ごしていて、職員との信頼関係が築かれている。

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 該当するものに印 | 項目 | 取り組みの成果 該当する項目に印 |
|----|--|---|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキ-) + (Enterキ-)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | グループホームの理念を職員たちで作り、入り口に掲示している。また、理念を共有して実践につなげている。 | 理念は、わかりやすい言葉で表現されており、誰でも理解できるように作られている。それを職員間で、復唱するなどして、確認し合いながら「えがおで やさしく 心の通い合うケア」の実践に反映させている。 | |
| 2 | (2) | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 身体的に外出が難しい利用者が多い。天気の良い日は車いすで散歩に誘い、近隣の人達と挨拶を交わしている。 | 地域の中にある近くの中学校から、総合学習の実習の中学生の訪問を受けたり、事業所側からは、介護相談などを地域に働きかけたりするなどして、交流を図っている。 | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 回覧板により介護に対する相談等を受けようとしたが、反応はなかった。 | | |
| 4 | (3) | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行いそこの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に一度、運営推進会議を開催し、活動報告や話し合いを行ってサービスの質の向上を図っている。 | 運営推進会議には、町会長さんや、家族の方、地域包括センターの方々に参加していただき、行事報告や研修報告を行い、積極的な意見を出してもらえるように働きかけて、サービスの向上に活かしている。 | |
| 5 | (4) | 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 問題が生じた時は直接問い合わせ、解決に繋げている。 | 市町村担当者とは、研修の相談や利用者への対応に関して相談をしたり、適切なアドバイスを受けたり出来るような関係づくりができています。 | |
| 6 | (5) | 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 職員全員で身体拘束の勉強会を持ち、理解を深め、身体拘束のないケアに取り組んでいる。 | 職員の気づきや見守りを徹底させ、抑制的な言葉に注意を払い、心身の拘束をしない取組をしている。日中は、玄関の施錠をせず、出来るだけ自由に過ごせる様、支援している。 | |
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 虐待防止について研修に参加したり、カンファレンスにおいて話し合いをしながら、虐待が行われることのないように見守り、注意している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 今のところ該当する利用者はいないが、自立支援事業や成年後見制度が必要な人には、活用できるよう支援している。 | | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 書類や面談により十分説明を行っており、理解・納得を得ている。 | | |
| 10 | (6) | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 面会時には利用者や家族の方々と会話を する機会を持ち、その中から不満を見い出し反映させている。 | 家族とは、コミュニケーションのとれる関係づくりに努めており、面会時には、利用者の状況報告をしている。家族の方からは、率直な意見や要望を聞き、運営に反映させている。 | |
| 11 | (7) | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月カンファレンスを行い、職員の意見や、提言を聞くようにしている。 | 毎月のカンファレンスの時や、毎朝のミーティングで、定期的な職員からの意見、提言を聞く機会を設けて、ケアに反映させている。 | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 代表者は職員との会話をする機会を大切にしている。また、親睦会を開いて、職員間の職場環境改善に努めている。 | | |
| 13 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 定期的な外部研修への参加や職場内の勉強会・研修等を実施している。各自が向上心を持って働けるよう努めている。 | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 勉強会や意見交換会を行い、悩みを共感しあいサービスの質の向上に努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|-----|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 本人との信頼関係が築けるよう、本人の訴えに対し耳を傾けて、サービスに導入するようにしている | | |
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 家族の悩みや要望などよく聞きながら、信頼関係を築いている。 | | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | よく話し合いを持ち、適切な支援を見極め対応するようにしている。 | | |
| 18 | | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 職員は利用者の皆さんと接する機会を多く持ち、個々の能力に応じて学んだり、支えあったりしている。 | | |
| 19 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 家族が来所された時にはお茶を出して接待し話しをする機会を持ち、家族と一体の支援関係を築いている。 | | |
| 20 | (8) | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 家族の協力を得ながら、外出や面会等により、支援に努めている。 | 面会時間は自由で、いつでも誰でも訪問しやすい環境づくりをしている。知人などの来所の時は、接待して、ゆっくり過ごせる様、支援している。 | |
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者の行動を常に把握し、利用者同士が関わりを持てるよう支援している。また、利用者同士が助け合う気持ちを引き出すよう支援している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去後も情報交換をしながら経過を見守り、相談や支援を行い関係の継続を図っている。 | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | その人らしい生活、意向の把握に努めている。職員は利用者の情報を共有している。 | 利用者の言葉や表情から、思いをくみ取り、職員は、毎朝のミーティングで、利用者の情報を共有し、本人の希望や意向の把握に努めている。 | |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入所時に利用者や家族より聞き取りをしたり、日常生活の会話の中から経過を把握している。 | | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 介護日誌を作成し、日々の過ごし方や心身状態を記録して、把握している。 | | |
| 26 | (10) | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人や家族の意向に沿って課題を模索し、それぞれの意見に反映した介護計画を作成している。 | モニタリングや、職員の気付き、家族の要望や意見を、総合的に取り入れて、随時見直しを行いながら、利用者本位の介護計画に活かしている。 | |
| 27 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 介護日誌を作成し、各勤務担当者が個々の記録をしている。また、月のまとめとして月次報告書を作成し、介護計画の見直しに活かしている。 | | |
| 28 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | その時々々のニーズに柔軟な支援や対応に努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|--------------------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | ボランティアの受け入れを行っているので時々来所され利用者の皆さんを支援している。 | | |
| 30 | (11) | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 利用者それぞれに主治医があり、気軽に相談等が出来る。また、緊急時に対応してもらえる協力医療機関がある。 | 利用者の掛かりつけ医の受診や通院は、家族に同行してもらっているが、都合の悪い時は、職員が通院介助を行いながら、本人、家族と情報を共有している。緊急時には、協力医療機関との連携が取れている。 | |
| 31 | | 看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | かかりつけ医院から訪問看護師が定期的に訪問している。異常発見時には適切に対応している。 | | |
| 32 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 利用者が入院時には病院に時々訪れ、医療機関から情報を得ている。 | | |
| 33 | (12) | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入所時や状態変化時に家族や本人と話し合いを持ち、全員で方針を共有している。 | 入所時に事業所の基本方針を説明し、家族と話し合いを行っている。、重度化や終末期の対応は、利用者の身体的状況の変化について、早い段階で話し合い、事業所として出来る限りの支援を図っている。 | |
| 34 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 研修等に参加して、知識や実践力を身につけるよう努めている。また、職員全員が普通救命講習を受講している。 | | |
| 35 | (13) | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 昼夜の時間帯を想定して、年2回避難訓練を実施している。また、緊急時マニュアルを作成している。 | 消防立会いの防災訓練や自主訓練を実施している。震災時の経験に基づき、改めて災害対策づくりに取り組んでいる。 | 地域の消防団や、自治会の協力体制を構築出来る様、期待したい。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 利用者一人ひとりに合わせた言葉掛けや、相手を傷つけないようなさり気ない声掛け誘導等を行っている。 | 利用者とは、目線を合わせて接し、抑制的な言葉使いに気を付けた対応に努めている。トイレ誘導は、早めにして、個人の尊厳を損ねないように気を配っている。利用者に対して、慣れなれしい態度にならないように努めている。 | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 利用者にわかり易く説明したり、その人に合わせて納得しながら自己決定できるよう支援している。 | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 個々の利用者に対して、自分のペースで生活できるよう希望に沿って支援している。 | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | その人らしいおしゃれが出来るよう本人の意向に沿って支援している。 | | |
| 40 | (15) | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者の好みを聞いたり、旬の食材を取り入れたりして楽しく食事が出来るようにしている利用者や職員が同じ食卓を囲み、会話をしながら楽しく食事をしている。 | 利用者の好みを聞き取り、旬の食材を使った献立を立て、見た目にも美味しくなるように工夫して、楽しい食事になるように努め、支援している。出来る利用者には、後片付けを手伝ってもらっている。 | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事量や水分量は、介護日誌に記入して十分摂れているか確認している。 | | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 自分で出来る人には声掛けを行い、出来ない人には入れ歯の洗浄、歯磨きを行っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 一人ひとりの排泄パターンを把握し、排泄レベルを低下させない為に、トイレ誘導を昼夜共に心掛けている。 | 日中は、一人一人の排泄パターンに合わせて声掛け誘導し、夜間はポータブル利用もして、排泄の自立支援をしている。 | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | リハビリ体操や歌唱を行ったり、また、牛乳やヨーグルトなどを取り入れて便秘の予防に取り組んでいる。 | | |
| 45 | (17) | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | ADLの低い利用者が多い為、入浴日が設定されている。 | 利用者に合わせた入浴を支援しているが、入浴を嫌がる利用者には声掛けのタイミングを工夫するなど、一人一人が入浴出来るように工夫している。 | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 一日の生活リズムを通して昼夜逆転にならないよう職員からの働きかけを多く持っている。また、照明や室温にも気を使い、安心して気持ちよく休める環境を整えている。 | | |
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 投薬カレンダーを使用して用法用量に注意している。また、個々の薬の説明書をファイルして職員がいつでも確認出来るようにしている。 | | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 利用者の能力に応じ、食器拭きや、洗濯物のたたみなどの役割を作っている。 | | |
| 49 | (18) | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | グループホームの行事で、普段は行けない所に行ったり、歩行不可の利用者は暖かい日を選び、車イスで散歩に出掛けている。 | 年二回の小旅行を企画し、観光地見物や、レストランでの食事を楽しんでもらえるよう、外出支援をしている。利用者一人一人の希望にそって、近所の散歩に出かけるなどして、外気に触れるよう努めている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 自己管理の出来る人には自分で管理してもらい、出来ない人には管理者が管理している。 | | |
| 51 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話利用については事務所を利用し、プライバシーが守られている。自分で掛けられない時は職員が対応している。 | | |
| 52 | (19) | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有空間には居心地良く過ごせるよう季節の花を飾ったり、季節に合った飾り物を飾っている。 | 共用の空間には、行事の写真が飾られ、花や植物が置かれたりして、心和む雰囲気となっている。炬燵テーブルや椅子を外の景色が見えるように配置して、開放感と季節感を利用者が享受できるように工夫している。 | |
| 53 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ホールにはテレビを置き、ソファが設置されている。また、畳所には掘りごたつがあり、団欒の場になっている。 | | |
| 54 | (20) | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室、あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている | 自宅から愛着のある家具やベッドが持ち込まれ好きなように配置されている。 | 利用者が自宅で使用していた布団や家具の持ち込みが出来、以前と変わらず、居心地良く過ごせる様にしている。居室も広く、家族が共に過ごしたり泊まったり出来るスペースとなっている。 | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | ホールやトイレには手すりが設置されている。浴槽内には滑り止めが設置され、安全で出来るだけ自立した生活が出来るように工夫している。 | | |